

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）
第5回年次総会
（2008年10月7日、京都）

声明
（仮訳）

1. STSフォーラム第5回年次総会が2008年10月5日から7日にかけて、91の国・地域・国際機関から750名を超える科学者、政策立案者、ビジネスマン、オピニオン・リーダーが一堂に会して開催された。本年のSTSフォーラムでは「自然との調和」をメインテーマに科学技術に関する議論が行われ、以下の点が合意された。
2. 自然との調和は人類にとって重要な課題である。毎年STSフォーラムでは、地球環境が議論され、米国、中国及びインドを含むすべての国が参加する、ポスト京都議定書の新しい国際的な枠組を構築する必要性が強調されてきた。G8の指導者が、温室効果ガスの排出を削減するための国際的な目標を取り入れるために努力するという考えを共有したことを歓迎する。この問題を解決するアクションプランを制定する時が来たのである。
3. 増大するエネルギー需要を踏まえれば、エネルギー効率の急速な向上、省エネルギー及び代替クリーンエネルギーの開発が不可欠であると確信する。とりわけ、原子力は極めて重要であり、核物質の保障措置、安全性及び安全保障に関する厳格な条件のもとで原子力発電を増加すべきであるとともに、核融合の開発もまた将来にとって必要不可欠である。
4. バイオ燃料は化石燃料の代替燃料として開発されてきたが、地球規模での食糧問題と環境問題に対する潜在的な悪影響を認識すべきである。このため、非食糧資源からバイオ燃料を創り出す第二世代の技術の研究開発を補助金の支出を伴わない形で推進すべきである。
5. 増大する飢餓や不安定な食料供給を踏まえれば、食糧生産の拡大は特に発展途上国にとってすぐに取り組まなければならない優先事項である。このため、遺伝子組換作物に関する研究と非遺伝子組換作物に関する研究とがどちらも、一般に受け入れられる努力を続けるとともに、安全性にも配慮しながら推進すべきである。
6. ゲノム研究における重要な進展に従い、オーダーメイド医療の重要性が強調されるべきであるとともに、プライバシー保護に関する国際基準が必要となっている。また、予防医療の進歩を加速することが期待されている。
7. 情報通信技術は地球環境、教育、健康問題の解決を可能にするためやビジネス・イノベーションへの貢献のために広く活用されるべきである。デジタル・デバイドの問題にも取り組まなければならない。情報通信技術の活用に当たっては、情報セキュリティ、プライバシー保護及び個人情報の使用に関する社会の関心に合致した形で効率性向上が追求されるべきである。

8. 知的財産（IP）制度がイノベーションにとって不可欠であることから、全世界の社会経済的な発展のための科学技術の進展を推進する、イノベーションを重視した知的財産に関する世界の枠組の構築に向けた包括的で戦略的なアプローチが追求されるべきである。
9. 先進国の研究者や科学者が参加する発展途上国における共同研究を促進することが重要であるが、発展途上国の人々の潜在能力を引き出し高めるためには、この共同研究のためにODA（政府開発援助）を活用することに加えて、発展途上国が先進国と協力することを提言する。この点で、日本政府が科学技術外交という新しいイニシアティブを取り入れたことを歓迎する。
10. 科学技術大臣会合や大学の学長会合に加え、本年のプログラムでは初めて科学アカデミーの長による会合と若い科学者や技術者を対象としたセッションが設けられた。STS フォーラムがこのように進化し、人類の未来に関する意思決定においてより大きな影響力を及ぼしつつあることを評価する。
11. 科学技術の発展が今や社会に対し重要なインパクトを及している状況にあり、政治的指導者と科学者の間でより多くの直接対話を実施され、科学者は政策立案に関与すべきである。この過程の一つとして、政策立案者は、社会のニーズに科学者が目を向けるように取り組み、積み重ねられた科学的な知見を政策立案者が構築する政策の中で適切に反映すべきであり、科学者は、その科学的な知見に基づく政策提言を積極的に行うべきである。一般大衆が科学技術を理解して支持する必要がある、この科学者と一般大衆の間の意見交換においてメディアが果たす役割の重要性が増している。
12. STS フォーラムは科学技術の最新の展開とそれが人間社会にどのような影響を与えているかについて学び、議論する重要な場である。科学技術の光と影がともに人類に大きなインパクトをもたらしていることや我々がこの地上で運命共同体であることを踏まえれば、民族、国籍及び性別に関係なく、あらゆる分野の人が上述の問題を自分自身の問題として考えることが重要である。我々の存続と繁栄のため、知識と理解を積み重ねていくとともにこれらの知識や理解を賢明な方法で活用するための最大限の努力をすべきである。
13. 我々は、STS フォーラム第6回年次総会を2009年10月4日（日）から6日（火）まで京都で開催することに合意した。京都に再び集い、自然と調和した人類のより良い未来の建設に貢献していくことを楽しみにしている。